

いよいよ今年も残り数日となりました。2学期もたくさん本が読めましたか？

もうすぐ冬休みですね。冬休みはおうちの人はきっといそがしくしていると思います。

お手伝いをたくさんして、夜はお部屋でゆっくり読書を楽しみましょう。

風邪をひかないように気をつけて、新年には元氣なみなさんに会えることを楽しみにしています。



冬休みに読む本の貸し出し日

12/16(月)～20(金)

ひとり 5冊まで借りられます。

今かりている本をすべて返してから、冬休み用の本をかりてください。冬休みのため5冊かりられます。



2024 ノーベル平和賞 受賞

日本原水爆被害者団体協議会 (日本被団協)

12月10日「ノーベル平和賞」の授賞式がノルウェーで行われました。核兵器のない世界を目指し、被爆者として核兵器の恐ろしさを証言し続けた日本被団協。受賞を機に戦争の記憶を次世代に伝える大切さがあらためて注目されています。



今こそ家族で読みたい 戦争と平和を考える本

「光のうつしえ 広島ヒロシマ広島」 朽木祥(作)講談社
「パンプキン！模擬原爆の夏」 令丈ヒロ子(作)講談社
「せんそうしない」 谷川俊太郎(文)講談社



読書感想画は3学期に神流町図書館に展示予定です。

日程が決まり次第お知らせします。

「リレーうちどく」

ご協力ありがとうございました。みなさんからの感想を一部紹介させていただきます。

「ぼくはなきました」

くすのきしげのり(作)石井聖岳(絵) 東洋館出版社



・友だちのよいところを見つけられるのが、自分のよいところだと思いました。

・自分の良いところを自分でみつけるのはむずかしいと思います。誰かに教えてもらえると、うれしくもあり、長所にもなると思うので、ぜひ言ってあげてください。

「きみのことがだいすき」

いぬいさえこ(作) パイ・インターナショナル



・すごくひさしぶりにパパと読んで楽しかったです。
・子どもをお母さんが元気づけるのがとても心にのこりました。

・子どもに読んでもらいました。なにかに行き詰まったときには、子どもにも自分にもこんな言葉をかけてあげたいなと思いました。
・すらすら読めるようになっていてよかったです。

「ペツエツティーノ」

レオ・レオニ(作)谷川俊太郎(訳) 好学社



・自分は他の何にもなれないなら、自分をみとめ、信じるのが大切だと思いました。
・できないことがあったり、みんなとはちがったりしても、自分のことを大切にして過ごしたいと思いました。

・だれかと比べるのではなく、私は私でいいんだよ、とてもシンプルにやさしく伝えてくれる絵本だと思いました。
・他の人のように得意なことがなくても、あなたはあなたで良いのだと励まされる本でした。

「まっくろネリノ」

ヘルガ・ガルラー(作)矢川澄子(訳) 偕成社



・まっくろをりょうしてきょうだいをたすけるやさしいところがすきでした。

・だれかと同じじゃなくていいし、「自分はじぶん」と思えたら気持ちも楽になるのかなと思います。
・「みんな違って、みんないい」そんな風に子どもたちが個性を認め合えたらいいなと思いました。

「ぐるんぱのようちえん」

西内ミナミ(作)堀内誠一(絵) 福音館書店



・さいごのばめんで、ぐるんぱが子どもたちの人気ものになってよかったです。

・ぐるんぱが、飼っている犬みたいだね、と言いながら楽しく読ませてもらいました。



「あなたがとってもかわいい」

みやにしたつや(作・絵) 金の星社



・あかちゃんのかおが、すごくおもしろかったです。

・短い本ですが、とてもホッコリさせていただきました。大きくなってもわが子はかわいいです。
・一緒に読んでいて、自然と子どもたちのうまれてから今日までの姿がよぎりました。



今回のリレーうちどくの本のテーマは「自分を好きになる本」でした。自己肯定感を育むためにおすすめの絵本です。絵本の読み聞かせは自己肯定感アップに有効といわれています。冬休みも、家族みんなで読書はいかがでしょうか。ご協力ありがとうございました。

